

地域に根差した農業クラスター形成による地方創生への支援

提言2. 魅力ある次世代農業への転換を促進する省力化技術の導入への支援

政策提言先 農林水産省

政策提言の要旨

TPPが発効した場合、多くの野菜で関税が撤廃されることとなり、国内の野菜産地は、輸入野菜にシェアを奪われることがないように、産地の競争力を高め、一層の安定生産・安定供給をしていくことが必要となってきました。

農業者が、攻めの農業を展開し、次世代を担う若者達にも魅力のある次世代型農業への転換を加速化していくためには、より一層の省力化・労働負荷の軽減を実現できる機械の導入や、生産管理工程の見直し・改善への支援策の強化を提言します

【政策提言の具体的内容】

○農業用アシストスーツのリース導入への支援

労働負担の大きい果樹や野菜の収穫・出荷調整にかかる作業の軽労化を図るため、農業用アシストスーツをリース導入できる支援制度を創設すること。

【政策提言の理由】

- 1 水稲等の土地利用型作物や、キャベツ等の大規模な露地野菜等では、栽培管理や出荷調整作業の機械化が進んでいるが、マイナーな野菜や、労働集約型の施設園芸等においては農作業の機械化が遅れており、作業効率が悪く、農業者への労働負担も大きく、後継者不足の要因になっています。
- 2 高知県においては、特産品であるショウガ、土佐文旦、ユズ等では、収穫や集出荷場へのコンテナ運搬作業が重労働となっており、産地の生産体制を強化するためには、作業者の労働負担を軽減することが必要です。
- 3 現在、国内メーカーや大学が、産地と連携して農業用アシストスーツの開発に取り組んでいますが、販売価格が高額であることから、一般農家への導入はすすんでいません。

そこで、農業用アシストスーツを個別農家が迅速にリース導入できる支援制度の創設を提言します。

提言2 魅力ある次世代農業への転換を促進する省力化技術の導入への支援

現状

・野菜や果樹(ショウガ、ミカン、文旦等)では収穫時のコンテナ出荷が重労働となり、体への負担が大きい。

また、雇用労力確保に苦労している。

・10a収量

ショウガ: 4~5t、ハウスミカン: 6t、文旦: 3t、ユズ: 2t

・全作業時間に占める収穫作業時間割合

ショウガ: 34%、ハウスミカン: 30%、文旦: 44%、ユズ: 45%

《課題》 収穫作業時の重労働が、産地の維持・拡大の妨げとなり、後継者不足にもつながっている。

ショウガ



ユズ



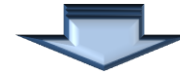
文旦



- ・果実や重量野菜の収穫、運搬作業
- ・腕を上げての整枝、摘果、受粉作業
- ・傾斜地での作業

農業用アシストスーツのリース導入への支援

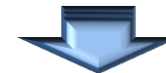
産地の維持・拡大の阻害要因になっている重労働の解消



・作業補助器具(アシストスーツ)の導入による作業の軽労化

品目、管理作業に応じた農業用アシストスーツを個別農家が導入

スマート農業の実践



産地のあるべき姿

- ・経営面積の維持、規模拡大
- ・大規模経営農家の育成
- ・農家所得の安定、向上
- ・後継者不足の解消

競争に打ち勝つ
産地づくり

産地間競争力・国際競争力のある園芸産地の育成